

# しどろいん

発行 厚木市青少年指導員  
連絡協議会  
編集 広報部会  
厚木市中町1-1-3  
TEL 225-2580

開始早々はいつものように人影が少なくとも心配しましたが、時間の経過とともに人出も増えてきて例年以上の賑わいになりました。参加していた小学生は、「とても楽しかったで

「あつぎ元気プラン」には、「元気あふれる創造性豊かな協働・交流都市あつぎ」と掲げられています。自分で何かを生み出そうとする「創造性豊かな青少年」を育むことこそ、私たち青少年指導員の仕事です。「少年少女フェスティバル」でいろいろな「ものづくり」を体験した青少年は、「ものまね」から「改良」「創造」へと成長していくことでしょう。「地域で育てよう青少年」は、神奈川県青少年指導員連絡協議会のテーマです。地域で行事を行う場合、他地区の「出し物」も考慮し、地区をまたいだ交流を推奨します。

大活躍してくれています。先日、教育関係者が集う、あるフォーラムでの出来事です。ジュニアリーダーたちが活動した、東北復興ボランティア事業の報告を彼ら自身で行いました。多くの教育関係者が参加する中、自分の体験から感じた事を自分の言葉で表現するさまは、リーダーに相応しく、周りの大人たちを感心させていました。地域活動を通じて、幼い頃からその成長を見てきた森の里の大人たちもその成長ぶりに拍手喝采でした。体験から学び、育まれる人間力は、大きなものがあると思つた瞬間です。我々は、次世代を担うジュニアリーダーが体験を通して幅広く活躍できるよう継続してサポートしていきます。



報告の真っ最中です。

## 少年少女フェスティバルを振り返って

未来を担う「あつぎっ子」とともに

ものづくり体験活動を通して

団体育成部会長 菅野昭男  
澄み渡った五月晴れの5月18日(日)、厚木中央公園で厚木市制60周年カウントダウン第17回少年少女フェスティバルが開催されました。



「あつぎ元気プラン」には、「元気あふれる創造性豊かな協働・交流都市あつぎ」と掲げられています。自分で何かを生み出そうとする「創造性豊かな青少年」を育むことこそ、私たち青少年指導員の仕事です。「少年少女フェスティバル」でいろいろな「ものづくり」を体験した青少年は、「ものまね」から「改良」「創造」へと成長していくことでしょう。「地域で育てよう青少年」は、神奈川県青少年指導員連絡協議会のテーマです。地域で行事を行う場合、他地区の「出し物」も考慮し、地区をまたいだ交流を推奨します。

## 創造性豊かな青少年を育てよう 厚木市青少年指導員連絡協議会会長 勝木 陽一

地域で複数の「ものづくり」を時間の余裕をもって体験してもらいましょう。「親子と共に」に参加・体験して頂くことにより、地域教育力を生かした地域の青少年を育む活動が実現できます。地域活動に当たり、「学校・家庭・地域」の三者の協働体制の在り方を検討しましょう。三者それぞれが「徳を得る」「継続可能な体制をめざしましょう」。

各種行事にご協力頂いている青少年関係団体、行政の方々には深く御礼を申し上げます。今後ともよろしくお願いたします。

## ジュニアリーダーズクラブ活動紹介

ジュニアとともに

玉川小学校区子ども会会長  
中里 博昭

平成25年度より、玉川小学校区子ども会の会長をしている中里と申します。

日頃から青少年指導員の方には、子ども会活動のご支援、ご協力を頂き、ありがとうございます。子ども会会長として、玉川地区(毛利台、玉川)のジュニアリーダー(以下ジュニア)相談役を仰せつかりましたが、年々ジュニアが減少していることは相談役としての力不足を感じております。

大活躍してくれています。先日、教育関係者が集う、あるフォーラムでの出来事です。ジュニアリーダーたちが活動した、東北復興ボランティア事業の報告を彼ら自身で行いました。多くの教育関係者が参加する中、自分の体験から感じた事を自分の言葉で表現するさまは、リーダーに相応しく、周りの大人たちを感心させていました。地域活動を通じて、幼い頃からその成長を見てきた森の里の大人たちもその成長ぶりに拍手喝采でした。体験から学び、育まれる人間力は、大きなものがあると思つた瞬間です。我々は、次世代を担うジュニアリーダーが体験を通して幅広く活躍できるよう継続してサポートしていきます。



報告の真っ最中です。

今年度、厚木市ジュニアリーダーズクラブ会長になりまして、全力で取り組んでいきたいです。また、ひとりではできない部分は他のジュニアリーダーとともに団結し、自分にとっても全ジュニアリーダーにとっても最高の1年になるように活動していきたく思います。よろしくお願ひします。

## 厚木市ジュニアリーダーズクラブ連絡協議会会長 滝沢 麗命

今年度、厚木市ジュニアリーダーズクラブ会長になりまして、全力で取り組んでいきたいです。また、ひとりではできない部分は他のジュニアリーダーとともに団結し、自分にとっても全ジュニアリーダーにとっても最高の1年になるように活動していきたく思います。よろしくお願ひします。

## 頑張れ！小鮎ジュニア

小鮎地区 川田 房江

小鮎地区ジュニアリーダーは現在18人で活動しています。2年前はひとりにも減ってしまっているの危機にありましたが、現在は、学校でティサロンを開きPRをしたことにより何とか18人までに増えました。ただ、部活などでなかなか活動ができないメンバーもいます。頑張つて活動しています。



頑張れ！小鮎ジュニア

ています。

地区の方々に色々な活動の場をいただき、とても感謝しています。新メンバーも今年1年生が6人入ってくれたので、新人の指導もすっかり現メンバーがしていただけていると思います。私たち青少年指導員もジュニアリーダーをフォローし、しっかりと育てて行かなければと思つています。

## ジュニアリーダー なりわい節

編集後記

今回の「しどろいん」の編集は、いつになくスムーズに進めることができました。「どついう紙面にしたら手に取ってくれるのだから」「どんな文章が読みやすいのだろう」と毎回試行錯誤しています。写真も数年前よりは増やし、見やすくしていきますが、如何でしょうか？

関係諸団体の広報紙なども参考に、今後読みやすい紙面の作成を目指したいと思つています。(南毛利南K)

# 頑張った少年少女フェスティバル

楽しく作れた

南毛利地区 安部 栄

フェスティバル当日、私たちは「のぼる人形」を作る体験を来場者にしてもらいました。

指導員として新任の私は当日何をしても良いかわからず先輩方の後につき、お手伝いさせていただきました。

のぼる人形とはたこ糸とストローを使い、たこ糸を操る事で人形が上に昇る物です。参加者の子どもたちは目を輝かせてワッペンに色を付け、真剣にはさみを使いのぼる人形を作り上げていました。

「出来たよ」と見せてくれる子どもたちは目を輝かせてとても嬉しそうです。付き添いのお父さん、お母さんもいつもと違う我が子を見て嬉しそうでした。

子ども、お父さん、お母さん、地域の人たちがコミュニケーションを取ることで健全な子ども、地域、社会が作られることを感じました。今回の経験を活かし来年も多くの参加者が楽しくコミュニケーションを取れるように協力して行きたいと思えます。

全面的なバックアップで

依知南地区 中港 正

「わっさきれい!」「回すと、いろんな色や形が見えるよ!」手作りの万華鏡を持って喜ぶ子どもたちの声が聞けたのも、前青少年指導員や、ジュニアリーダーのおかげでした。

依知南の青少年指導員は、7人中6人が新人です。材料の準備、部品の袋詰め、テントや机・椅子の借用、応援メンバーの確保。当日の準備から後片付けまで前青少年指導員の方々にお世話になりました。

青少年指導員の役割が理解できていないうちの少年少女フェスティバル「万華鏡づくり」でしたが、みなさんのお力添えで楽しい一日を過ごすことができました。



うまくできるかな

積極的なボランティア部

厚木南地区 野村 成規

厚木南地区では、「ネオ空気砲」作り体験を出し物として行ないました。当日は、厚木中学校のボランティア部員にもお手伝いいただき、たくさんの子どもたちに体験してもらいました。

毎年進化をしている空気砲ですが、今年はボランティア部員のアイデアで、先端に釣り糸で発泡スチロールの球を付ける工夫をしました。また、作った空気砲ですぐに遊べるよう、的も作りました。ひとりひとりが楽しみながらどうのようにしたら使いやすい空気砲になるかを考え、小さな子どもたちに教えることができました。

ただ、空気砲を作るのを楽しみにしてきた子どもたちもいたのに閉会を待たず材料がなくなってしまったことは、反省すべき点であると思います。

みんなで考え運営できたことで、とても充実した内容になりました。今回初めて参加した自分にも、大きな自信につながったと思います。

ジュニアリーダーのパワー

に脱帽

相川地区 内藤 宣明

少年少女フェスティバルに青少年指導員として初めて参加しました。主役となるジュニアリ



頑張れジュニアリーダー

最初は4人の女子でした。最初に水鉄砲づくりの各工程を打ち合せ、指導方法のレベル合わせを実施。そのうちに、子どもたちがどんどん集まってきて、ジュニアリーダーも青少年指導員も大忙し。

先程打ち合わせたばかりなのにジュニアリーダーは、テキパキとやさしく指導、子どもたちへの指導はジュニアリーダーが一番、パワーに脱帽です。

水鉄砲づくりは塩ビパイプなどの部品を組み合わせて作りますが、子どもたちは慣れない材料や道具を使って真剣に頑張ります。完成したあとは的を狙って試し撃ち、上手く撃てた瞬間の笑顔が忘れられません。

このフェスティバルが子どもたちの健全育成の一助であることを実感。これからも、今日の感動を忘れずに活動したいと思います。

青少年課から

今年度、新たに青少年指導員に委嘱された方を対象にした新任研修会が、6月7日(土)に厚木シテイプラザ6階のサイエンスホール250で開催されました。当日は豪雨にもかかわらず、24人の新任青少年指導員が出席しました。

研修会はアイスブレイキングを行うなど和やかな雰囲気が始まりました。その後の各部長や中島副会長からジュニアリーダーや地域の青少年健全育成を推進するための青少年指導員としての心構えについての講演では、熱心に耳を傾けておりました。

また、講演終了後には、新任青少年指導員から積極的な質問が多数あり、今回の研修会に対して真剣に取り組む姿勢がうかがえました。



研修会の模様

青少年指導員は次代を担う青少年を明るく・元気に・心身ともに健全に育成することを目的に、各地域で活動しておりますが、新任青少年指導員の今後の活動に期待が高まる研修会となりました。

## 野外指導者講習会に参加して

自然を感じて

緑ヶ丘地区 竹内 隆志

初夏の晴天のもと、写真オリエンテーリングに初めて参加しました。

玉川公民館をスタートし、仲間と共に限られた時間の中で、地図に示されたポイントから見える風景の写真を探すぐらゝ、こんな歩けるかなという心配もどく吹く風で、地図とにらめっこする人や風景をぐるぐると確認する人など、お互いに声を掛け合い和気あいあいとチーム一丸となってゴールを目指して行きました。

道行く小学生と挨拶を交わしたり、自然を感じたりしながら、清々しい気分になれるイベントでした。とても楽しかったです。

ここはどこ?これは何?

南毛利南地区 久保 勝寿

今年の講習会の集合場所は玉川公民館です。ここから小野橋までの範囲で写真オリエンテーリングを行いました。

ここはかつての通勤路で見慣れた風景でしたが、マンホールの蓋やカーブミラーに映る景色などじっくりとみることはありませんでした。見る方向によってまるで別のものに見えること



豪華カレー?の出来上がり

に驚きました。一時間半程度でしたが、休みなく歩き、思った以上に頭を使い、心身ともに心地よく疲れた講習会でした。

豪華カレー?

荻野地区 土谷 知男

当日は入梅大雨後の晴天となり、熱中症を気にしながらの実施となりました。

写真オリエンテーリングの後、七沢自然ふれあいセンターへ移動して定番のカレー作りで野外炊事を研修。全班とも手慣れたもので、専門店に負けない豪華カレー?が出来上りました。最近のおやじたちは女性に負けず料理も凄い!

その後、宿泊組は情報交換会を実施し、1日目の研修は終了。今回は青少年指導員として実践的な野外研修であり、今後ジュニアリーダーたちと一緒に有意義な野外活動に役立てることができると確信しました。

## 新任青少年指導員の意気込み

やるしかない!

厚木北地区 志澤 光則

皆さん、こんにちは。今年度より厚木北地区青少年指導員になりました志澤です。

当地区では3人の新任が入り、計7人で活動しています。今年度の意気込みとしては、「やるしかない!」です。どのイベントにおいても初めての事なので、とにかく全力でぶつかって行こうと思います。

地域の皆さんや子どもたちへのイベント面白かったとか、またやってほしいと思っていただけのように頑張る、仲間たちで美味しい飲み物(ビール?ジュース?)で乾杯したいと思えます。

これからもよろしくお願います。

誓い

依知北地区 石津 史博

私はオートバイが好きで、この歳になってもツーリングを楽しむため、箱根や伊豆方面へふらつと出かけるほどです。

私たちの若いころは、当時「暴走族」と呼ばれた集団が各地で結成され、それにもなう少年の暴走行為による死亡事故が急増し社会問題にまで発展しました。



新任青少年指導員 頑張れ!

私だけが新任です

陸合北地区 小橋 慎一

今年度初めて青少年指導員として委嘱され、体育部会で活動しています。

陸合北地区の青少年指導員は7人で私だけが新任です。活動に対する不安等について先輩方が親切丁寧に指導してくださるとともに、会議や行事の後は親睦を深める会を設けてくださり、すぐに溶け込むことができ、とても感謝しています。

アミューあつぎオープンニングイベントや少年少女フェスティバルに参加することでジュニアリーダーの活躍に感心し、ともに成長することの重要さが分かりました。

また、野外指導者講習会に参

加して、写真オリエンテーリングという楽しい企画や野外炊事宿泊体験をしました。これにより子どもたちに家庭や学校生活では味わえないさまざまな活動を経験させることが、豊かな人格形成につながることを研修しました。

ドキドキしながら

陸合西地区 栗原 澄子

どんな事をするのか分からず、青少年指導員になり早3カ月が過ぎました。その間、少年少女フェスティバル、地区行事の結のつかみどり等に参加しました。

少年少女フェスティバルでは竹ぶえを作りました。子どもたちはもちろん私も鳴るのか、ドキドキしながら一緒に作りました。竹ぶえが鳴ったときの笑顔と、「ありがと」は格別です。私まで童心にかえり楽しく作れました。

コミュニケーション不足といわれている今ですが、青少年指導員の役割もそんなところにあるのではないかと思います。これから色々な活動を通し、人と人とのふれあいの大切さや素晴らしさを、子どもたちに伝えられたらと思います。